

平成20年度気候講演会（新潟）の開催について

気象庁は、地球環境問題に関する最新の科学的知見やその対策などについての知識を深めていただくために、「気候講演会」を平成元年から毎年、日本各地で開催しており、今回は新潟市で下記により開催します。

本講演会では、地球温暖化の現状や将来予測について新潟の気候を交えて紹介するほか、南極と北極の氷の分析から明らかになった過去数十万年の気候・環境変動、地球温暖化防止に向けた取り組みなどについて紹介します。

記

- 1 期日：平成20年8月27日（水）13時～15時30分（12時30分開場）
- 2 場所：新潟市民プラザホール（新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21ビル6階）
- 3 実施体制
主催：気象庁、（財）日本気象協会、（財）気象業務支援センター
後援：新潟県、新潟市、新潟県地球温暖化防止活動推進センター、（社）日本気象学会
- 4 実施内容
タイトル：「知って防ごう 地球温暖化 in 新潟」
講演：
 - ・『地球温暖化—どう変わる新潟の気候?!』
新潟地方気象台長 栗原 弘一
 - ・『南極と北極の氷に記録された過去の気候・環境変動の解説』
国立極地研究所 准教授 東 久美子
 - ・『地球温暖化防止のため私たちが求められていること』
新潟県地球温暖化防止活動推進センター長 谷中 隆明
- 5 その他
定員：500名（事前申込制、定員になり次第締め切り）、入場無料
対象：中学生以上
応募方法等詳細につきましては、別紙のリーフレットをご覧ください。

知って防ごう 地球温暖化in新潟

今年7月の北海道・洞爺湖サミットでも中心議題となり、世界的な取り組みが注目されている地球温暖化防止対策。二酸化炭素の増加が地球温暖化の主な原因といわれていますが、どのような仕組みで地球温暖化が起きるのでしょうか？

また、地球温暖化により私たちの生活や生態系など、身の回りにどのような影響があるのでしょうか？

これまでの気候がどのように変化してきたか、今後どうなるか、新潟県における影響、県民として何をしなければならないか、なにができるのか、などについてお伝えします。

平成20年
8月27日(水)

- 開場/12時30分
- 開演/13時～15時30分

主催

気象庁、(財)日本気象協会、
(財)気象業務支援センター

後援

新潟県、新潟市、
新潟県地球温暖化防止活動推進センター、
(社)日本気象学会

講演

- 『地球温暖化—どう変わる新潟の気候?!』
新潟地方気象台長 栗原 弘一
- 『南極と北極の氷に記録された
過去の気候・環境変動の解読』
国立極地研究所 准教授 東 久美子
- 『地球温暖化防止のため
私たちが求められていること』
新潟県地球温暖化防止活動推進センター長 谷中 隆明



会場

新潟市民プラザホール

新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21ビル6階

●交通:新潟万代口(北口)駅前バスターミナルより、市内線信濃町行又は県庁・新潟駅南口行で「古町」バス停下車、徒歩1分

- 定員/500名(定員になり次第締切り)
- 対象/中学生以上

■応募方法

往復はがきに、代表者の住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、入場希望人数をご記入の上、以下の宛先までお申し込みください。また、気象台HPからも応募できます。

- 宛 先/〒950-0908 新潟市中央区幸西4-4-1
新潟地方気象台 防災業務課 気候講演会係
- 応募締切/平成20年8月20日(水)必着

■本講演会のお問い合わせ先(ホームページ)

- 気象庁地球環境・海洋部地球環境業務課 TEL03-3212-8341 内線4225 (<http://www.jma.go.jp/>)
- 新潟地方気象台 防災業務課 TEL025-244-1703 (<http://www.tokyo-jma.go.jp/home/niigata/>)

講演概要

地球温暖化—どう変わる新潟の気候?!

新潟地方気象台長 栗原 弘一



日々の生活の中で、気候が変わりつつあると感じている方も多いと思います。地球温暖化の影響は遠い未来の話でも、私たちの知らない世界の話でもありません。例えば日本では異常高温の多発や大雨頻度の増加などの傾向が現れており、その傾向がさらに進む心配があります。私たちが暮らす新潟でも、昔に比べて気温が上昇し、降る雪も減少しています。地球温暖化の問題に取り組み、気候の変動に備えるためにも、世界や日本、そして新潟の気候がどのように変化してきて、これからどう変わるのか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

南極と北極の氷に記録された過去の気候・環境変動の解読

国立極地研究所 准教授 東 久美子



南極や北極では、夏でも雪が融けないため、過去に積もった雪の上に新しい雪が積み重なっていきます。上に積もる雪の重みで、雪は徐々に氷に変化しますが、その過程で、氷の中にその時代の空気を取り込まれます。このように、南極や北極の氷には、過去から現在に至るまでの雪や空気が冷凍保存されているのです。

現在、世界各国が南極や北極の氷に記録された過去の気候・環境変動を解読しようと努力しています。南極と北極の氷の分析結果から最近明らかになってきた、過去数百年～数十万年の気候・環境変動と、人間が地球環境に及ぼした影響についてお話します。過去から学ぶことによって将来の地球の気候や環境を予測するための貴重な手がかりが得られます。

地球温暖化防止のため私たちが求められていること

新潟県地球温暖化防止活動推進センター長 谷中 隆明



新潟県の気候風土は、温暖化の影響を大変敏感に受けやすい特徴があると考えられます。県内でも温暖化は既に顕著に進行しており、今後このまま温暖化が進行すれば、環境や水資源、農林水産業等の地場産業にも大きな影響が現れることが懸念されます。

一方、県民1人あたりの温室効果ガス排出量は、全国平均に比べてもかなり多いばかりでなく、近年、急激に増加しています。私たち一人ひとりがそのことをまずしっかりと受け止め、今後、私たちが何をしなければいけないか、何ができるかを考え、そして行動につなげていくことが、いま強く求められています。



司会 三河 かおり (UX新潟テレビ21 アナウンサー)

北海道出身。NHK室蘭放送局、NHK札幌放送局を経て、2003年UX新潟テレビ21入社。ニュース取材や中継などに携わる。「スーパーJチャンネルにいがた」のキャスターを経験し、現在は、毎週(土)7:00からのニュース情報番組「まるどりっ!」にMCとして出演。2005年「ANNアナウンサー賞」優秀賞を受賞。